



東京金山会通信

No.10

問い合わせ

東京金山会 広報担当（藤山善夫）
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

この時期にしてはあまり寒くない日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか？

今年の冬は例年にないほど雪が少なく、子どもたちにとっては雪遊びが出来ないつまらない冬ようです。神室スキー場は雪不足のため、オープン出来ておりません（1月31日現在）。ウェブカメラで金山町内を見てみても、私の知っている冬の金山とはかけ離れていて驚いています。温暖化、異常気象と言われているが、金山町の産業等への影響が心配されます。広報紙が皆様のお手元へ届く頃には、一面銀世界になっていると良いですね。

今年の年賀状で、東京金山会通信毎月読んでいますよ！とコメントを頂きました。ありがとうございました！

1月25日には、東京金山会の役員会が行われました。皆様に喜んで頂けるよう、役員一同頑張りますので、今年もよろしくお願いします。



⑨神奈川県川崎市の川崎大師平間寺へ初詣に行きました ⑩毎年車に正月飾りを付けています。近年、あまり見られなくなりましたが、どうやら「車に傷がつく」「周りが付けていない」などが理由のようです。還暦を過ぎた私も詳しい説明はできませんが、新しい神様が迷わないための目印として、色々な所へ飾るんだよ！と子どもたちが小さい時に話した記憶があります（詳しい方はぜひコメントお願いします） ④道路のライブカメラで金山の積雪状況を確認しています

No.169

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぱすと内



あかり

林木林／文
岡田千晶／絵
光村教育図書

新しいろうそくが今、初めて火をつけてもらいました。生まれて初めて照らしたのは、生まれて間もない女の子と、幸せそうに笑っている家族。このろうそくは、お母さんが「この子の幸せを願って心にやさしいあかりが灯りますように」と願って作ったもの。その後、誕生日に灯り、嵐の夜や木枯らしの夜にも灯りました。やがて女の子は大人になり、家を出ていくことになりました。ろうそくは何度か火をつけてもらうことはありましたが、新しい家になってからは木箱に入れられたままになりました。ろうそくは忘れられてしまったのでしょうか。



※（ ）内作者名

名残の花（澤田瞳子）／祝祭と予感（恩田陸）／ライオンのおやつ（小川糸）／ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー（プレイディみかこ）／歩道橋シネマ（恩田陸）／日本語をつかまえろ！（飯間浩明）／グッドバイ（朝井まかて）／調子がいい！がずっと

Vol.21



山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



④（左から）「ちょこっとしゃべっていけや！」の看板／たくさん地区のことを伝えてくれる ⑤美味しい料理でおもてなし

全31地区を毎月届けている道草だよりも残すところあと2地区。これまでの取材で「明るい地区には当事者の意識が強い人がいる」ということを感じています。今回取材した小蟬地区では栗田カツ子さんにお話を伺いました。カツ子さんは「かつこや」というふらっとお茶飲みに立ち寄れるコミュニティスペースを運営しています。驚いたのは「地域を元気にしたい」「しなげにならない」と危機感を持ちつつも、カツ子さん自身が楽しめる方法で、芸工大生と一緒に地区の紙芝居を作り、語り部として活動していること。

とです。「何か食いで時、おいでよ」と常におもてなし精神があつて地区の元気印。大学生も帰りたい場所になるのが納得しました。そして、山形市のスーパーでも週1回、金山料理を販売して町の山菜の味などを届けています。カツ子さんの今年の抱負は「山に行って料理作って、山形市に行って喜ばせて、学生さんがきたら喜ばせて、昔話も一緒にやって、少しでも若い人が戻ってきてくれるようにすること」。

カツ子さんをはじめ、元気な小蟬地区。皆さんも元気をもらいに「かつこや」さんに訪れてください！

金山杉俳句会報 第四三六回



かねやま紅風会

星川 きえ子
これほどの力ありしや冬樹の芽
小春日に身のほぐるるや親子旅

岸 あき子
小窓より見ゆるは全て冬木立
黄菊濡れ白菊潤む夜半の月

高橋 洋子
風の聲聴く窓を叩く雨
冬至り垣に枝葉の揺しきり

鶴沼 よし子
趣味の会茶受けに盛る切り山椒
遠き日の遠き想ひ出山眠る

阿部 サタエ
手押し車百歩あるひて竜の玉
幸せを噛みしめている今年米

荒屋 関 喜美子
舞ひ遊ぶ銀杏落ち葉の並木道
亡き猫を偲ぶ縁さき日向ぼこ

菅 越 庄司 けみ子
束の間や一陽来復屋根の辺へに
静まりし名残の空や月の影

七日町 青柳 キエ子
冬夕焼け一日の無事をかみしめる
くさめしてじろり見られる待合室

羽場 坂本 徳太郎
満開を急かす陽気や返り花
財布縫ぎ合せて孫へお年玉

上 台 阿部 一步
通院の妻の手をとる雪の朝
夢を捨て免許返納初の旅

七日町 村松 奈風
ゆるぎ無し冬陽に坐せる顕彰碑
安らけく令和に明けし大旦